

～海外に向けて「福島は今」を発信し、イメージ刷新を図ります！～

フ ク シ マ ア ッ プ デ イ ツ  
**ポータルサイト「Fukushima Updates」を公開**

風評払拭に向けた海外に対する情報発信の一環として、主に外国の方々が抱く福島や日本の安全性に関する疑問や不安を解消するため、正確でわかりやすい情報を発信するポータルサイト「Fukushima Updates」を3月4日（木）に公開します。

本ポータルサイトは、政府関係機関が一体となって情報の更新等に努め、海外に向けた情報発信の最前線ツールとなることを目指します。

<「Fukushima Updates」の概要>

- 現在輸入規制を行っている国・地域の皆様に重点的にご覧いただくことを想定し、**英語を始め、中国語（繁体・簡体）・韓国語および日本語で公開。**
- **FAQ を主要コンテンツ** とし、福島の実況や日本の食品の安全性、および福島第一原子力発電所などに関して Q&A 形式でまとめている。回答部分は、「簡単な回答」、「詳細な解説文」、「図表」、「関連サイト」などから成り、正確で分かりやすく情報を得ることができる。この構造により、世界の主要な検索サイトで検索されやすくなる。（別紙参照）
- 分かりやすく知ってもらうための **動画やパンフレット等も掲載。**
- 高画質の写真で福島の実況を掲載し、ダウンロードして、バーチャル背景としてパソコンの壁紙やビデオ会議の背景などに活用できる。

<参考> 掲載ページ QR コード

（日本語版） <https://fukushima-updates.reconstruction.go.jp/>



本件連絡先

復興庁原子力災害復興班 栗林

電 話：03-6328-0248

FAX：03-6328-0295

## <別紙> FAQ ページの例（日本語の場合）

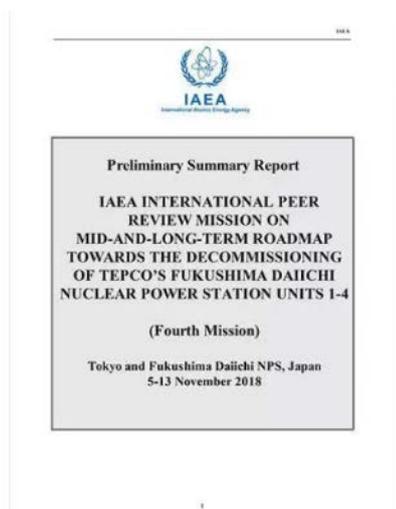
Q 福島安全性は第三者機関が確認しているのか？

A 福島第一原発についてIAEAは、「安定状況への移行がなされた」と評価し、福島での健康影響についてWHOやUNSCEARは、「原発事故による放射線の健康影響が確認される可能性は小さい」と評価しています。

IAEA（国際原子力機関）は、福島第一原発の廃炉における計画と実行について計4回調査を行い、2018年11月には最終報告書を取りまとめました。報告書では、「IAEA調査団は、福島第一原発の緊急的な状況から安定的な状況への移行において、重要な進捗が達成されたと認識している。」と評価しています。

また、WHO（世界保健機関）は、「今回の放射線によって疾患の罹患の増加が確認される可能性は小さい」と評価しています。

さらに、UNSCEAR（国連科学委員会）は、「事故により日本人が生産に受ける被ばく線量は少なく、その結果今後、放射線による健康影響が確認される可能性は小さい」と評価しています。



第4回IAEAレビューミッションサマリーレポート（経済産業省）

### 関連URL

[経済産業省「第4回IAEAレビューミッション サマリーレポート」](#)

[UNSCEAR: 2013年報告書](#)

[環境省「放射線による健康影響等に関する統合的な基礎資料 第5章 5.1WHO報告書とUNSCEAR2013年報告書」](#)

← 質問

← 簡単な回答

← 詳細な説明文

← 関連図表

← 図表の出典

← 関連サイトへのリンク